

第1章 平成18年度山口大学構内遺跡の調査

第1節 平成18年度に実施した遺跡調査の概要

山口大学の関連諸施設は、山口市（吉田・白石構内）、宇部市（小串・常盤構内）、光市（光構内）の県内各市に分散しているが、各構内は「周知の埋蔵文化財包蔵地」内、つまり遺跡の上に立地している。各構内の様相を概略すると、吉田構内は縄文時代後・晩期から江戸時代にかけての全時代を網羅する複合集落遺跡として県内でも著名である吉田遺跡内に、白石構内は弥生時代から古墳時代を中心とした集落遺跡である白石遺跡内に、小串・常盤構内は旧石器時代から江戸時代にかけての遺物が出土する山口大学医学部構内遺跡・山口大学工学部構内遺跡内に、光構内は縄文時代から江戸時代にかけての集落遺跡・遺物散布地である御手洗遺跡・月待山遺跡内に位置している。

このような環境の下、山口大学埋蔵文化財資料館は山口大学構内に埋存する貴重な埋蔵文化財を保護・調査・研究・活用する施設として、設立以来その重責を担い続けている。当館の平成18年度時の調査体制は以下の通りである。

まず、各構内において地下掘削を伴う工事が立案・計画された場合には、埋蔵文化財資料館専門委員会において事業計画の確認を行った後、文化財保護法の諸手続の下、山口大学各構内が位置する地方公共団体（山口県および各市）の指導により、埋蔵文化財保護の立場から本発掘・予備発掘・立会の三種の方法で調査を厳密に行っている。「周知の埋蔵文化財包蔵地」外に位置する大学関連施設（職員宿舍等）敷地内で地下掘削を伴う工事が実施される場合においても、埋蔵文化財の新規発見の可能性を考慮して掘削時に資料館員が確認調査を行っている。

調査の結果、埋蔵文化財が確認された場合には、同専門委員会が可能な限り、遺跡のさらなる現状変更を避けるべく厳密な協議を行っている。

上記の調査体制の下、資料館が平成18年度に実施した埋蔵文化財の調査は、下記の通り本発掘調査2件、予備発掘調査2件、立会調査9件、確認調査1件の計14件であった。

表1 平成18年度山口大学構内遺跡調査一覧表

調査区分	調査名	構内地区	構内地区割	面積 (㎡)	調査期間	本書掲載頁
本 発 掘	農学部附属家畜病院改修Ⅰ期工事	吉田	S-20	225	6月12日～8月11日	11～113
	教育総合研究センター改修Ⅱ期工事	吉田	K・L-16	84	6月12日～8月8日	115～125
予 備 発 掘	農学部附属家畜病院改修Ⅰ期工事	吉田	S-20	36	4月24日～4月28日	5～10
	資料館(東亜経済研究所)新営工事	吉田	L-20・21	100	12月5日～1月10日	141～145
立 会	農学部附属家畜病院改修Ⅰ期工事	吉田	S-20	19	11月10日	114
	教育総合研究センター改修Ⅱ期工事	吉田	J・K・L-16 I・J・K・L-17	480	9月11～13・15・20・26 ～28日、10月10～12・ 24・25・30日 1月9、15、16日	126～140
	プレハブ校舎移設工事	吉田	I-16	29	5月11日	146
	第一学生食堂改修工事	吉田	J-20	75	5月30日、7月3日	147
	図書館前広場環境整備工事	吉田	L-20・21-17・18	55	7月7日、8月9日	148
	プレハブ校舎新営工事	吉田	F-14・15 G-15	400	7月21日、8月7日	149
	人文学部外灯用電源敷設工事	吉田	M-20	6	2月19日	150
	テニスコートフェンス改修工事	吉田	B-17 C-17 C-18	10	3月13・14日	151
	モニュメント設置工事	小串		6.25	6月4日	152
確認	総合研究棟改修工事	常盤		280	10月13・16日	153

吉田構内（本部、人文・教育・経済・理・農の各学部：山口市吉田1677-1、教育学部附属養護学校：同吉田3003所在）

平成18年度は本発掘調査2件、予備発掘調査2件、立会調査8件を実施した。

農学部附属家畜病院改修Ⅰ期工事に伴う調査では、周辺地の既往の調査成果により古代の官衙に関連する遺構等の発見が期待された。調査の結果、古代の遺物を多量に包含する埋没谷の下位に大型のものを含む掘立柱建物跡が3棟発見された。この内、大型掘立柱建物跡からは遺存状態の良い柱根3本が確認され、県央部の古代の歴史環境を復元する上で貴重な成果が得られた。

教育総合研究センター改修Ⅱ期工事に伴う本発掘調査、立会調査では、縄文時代から古墳時代にかけての旧河川が確認された。河川埋土からは縄文時代晩期から古墳時代前期を中心とする土器を中心に数多くの遺物が出土しており、吉田構内低地部における遺物分布に新知見が得られた。

キャンパス内経済学部校舎周辺は、既往の調査で東方および南方から複数の旧河川が集合する地帯であることが推測されていた。一方で西方約100m地点には、弥生時代中期から終末期にかけての集



写真1 吉田構内航空写真（南東から）



写真2 白石構内（教育学部附属山口幼稚園・小学校）
航空写真（南東から）



写真3 白石構内（教育学部附属山口中学校）
航空写真（南から）



図1 山口大学吉田・白石構内位置図

落跡（遺跡保存公園）が確認されており、集落が営まれた微高地が東方に何処まで続くのかが問題視されていた。今回実施した資料館（東亜経済研究所）新営に伴う予備発掘調査でも旧河川が確認されるに止まったが、今後とも周辺地域での継続的な調査が必要である。

白石構内（教育学部附属山口幼稚園：山口市白石三丁目1-2、同山口小学校：白石三丁目1-1、同山口中学校：白石一丁目9-1所在）

平成18年度は、該当地での掘削を伴う開発等工事は計画されなかった。

小串構内（医学部、同付属病院：宇部市南小串1丁目1-1）

立会調査1件を実施した。モニュメント設置工事は医学部総合研究棟の南東に計画されたが、総合研究棟新営に伴う発掘調査では、旧耕土下に縄文土器および須恵器、土師器を包含する砂層が確認されていた。今回の工事は造成土内の掘削に止まったが、今後とも慎重に対応していきたい。

常盤構内（工学部：宇部市常盤台2丁目16-1、尾山宿舍：同上野中町2658-3所在）

確認調査1件を実施した。平成18年度より、山口県教育委員会により山口大学工学部構内遺跡の範囲が修正され、該当地は周知の埋蔵文化財包蔵地外となっていた。慎重を期して工事中の確認調査を実施したが、削平された地山を検出するに止まった。



図2 小串・常盤構内位置図



写真4 小串構内航空写真（南東から）



写真5 常盤構内航空写真（南から）

